

プレミアムフライデーに関する調査結果



2019年2月
プレミアムフライデー推進協議会

プレミアムフライデー 主な数値



○ロゴマーク申請件数

・・・**8,469件**（2019年2月22日現在）
（取組開始の2017年2月末時点：4,261件（+99%））

【全国の有職者に対するアンケート結果】

○認知度・理解度

・・・引き続き、
認知度：9割台／理解度：7割台と高い水準で推移

○プレミアムフライデー当日の通常よりも早く退社したという者の割合（早期退社率）

・・・調査を実施した全17回の平均で**11.3%**
直近6回の調査でPF当日以外の日に振り替えて実施したという者を
含めると平均で20.6%

全国の有職者に対するアンケート

調査対象者

- インターネットを用いたアンケート
- 20～50代の男女
- 原則週休2日制の正規の社員・職員（フルタイムの非正規社員も含む）
- 2,015サンプル
- 地域別の人口、性別・年代構成を考慮
- 2017年2月から2018年3月まで、2018年9月、11月及び
2019年1月のプレミアムフライデーについて調査（これまで17回実施）

目 次

○プレミアムフライデー 主な数値	2
全国の有職者に対するアンケート	
○調査対象者	3
○目次	4
○認知度・理解度・賛同度・参加意向度の推移	5
○プレミアムフライデーの日に通常よりも早く退社したという者（＝早期退社率）の推移 ...	6
○【企業規模別】早期退社率の推移	7
○【地域別】早期退社率の推移	8
○プレミアムフライデーの早期退社推奨率	9
○【企業規模別】早期退社推奨率の推移	10
○【地域別】早期退社推奨率の推移	11
○プレミアムフライデーの帰宅時間	12
○プレミアムフライデーの過ごし方	13
○いつもより早く退社した者のプレミアムフライデーの過ごし方	14
○所属企業に対するプレミアムフライデーの早期退社の推奨希望	15
○【年代別・男女別】所属企業に対するプレミアムフライデーの早期退社の推奨希望 ...	16
○プレミアムフライデーにちょっと豊かな時間を過ごせたか	17
○【参考】調査サンプルについて	18

認知度・理解度・賛同度・参加意向度の推移

Q： あなたは、「プレミアムフライデー」をご存知でしたか。当てはまるものをお選びください。【認知度・理解度】

- 1.内容もよく知っていた 2.内容はある程度知っていた 3.名称は知っていた
4.名称を聞いたような気がする 5.どのようなものか全く知らない／今回はじめて聞いた

(※) 認知=1.+2.+3. 理解=1.+2.

Q： あなたは、「プレミアムフライデー」についてどのように思いますか。【賛同度】 ※2018年9月まで調査

- 1.賛成する 2.ある程度賛成する 3.あまり賛成しない 4.賛成しない

(※) 賛同=1.+2.

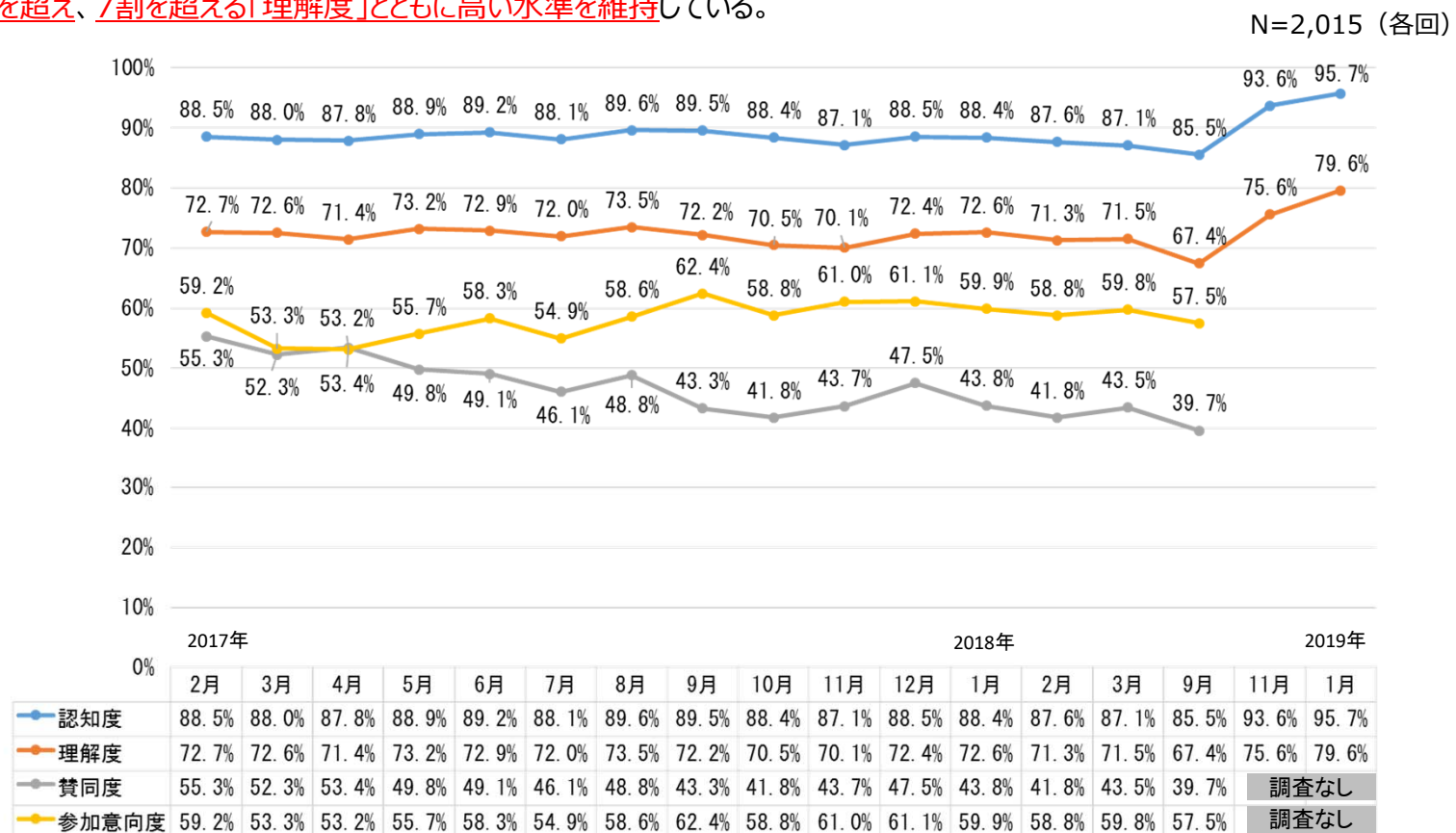
Q： あなたは今後、「プレミアムフライデー」の日に、いつもより早く帰れる（退社できる）かどうかに関わらず、ちょっと豊かな時間を過ごしたいと思いませんか。【参加意向度】 ※2018年9月まで調査

- 1.そう思う 2.まあそう思う 3.あまりそう思わない 4.そう思わない

(※) 参加意向あり=1.+2.

プレミアムフライデーの「認知度」、「理解度」、「賛同度」、「参加意向度」の推移については、以下のとおり。

「認知度」は9割を超え、「理解度」7割を超える「理解度」とともに高い水準を維持している。



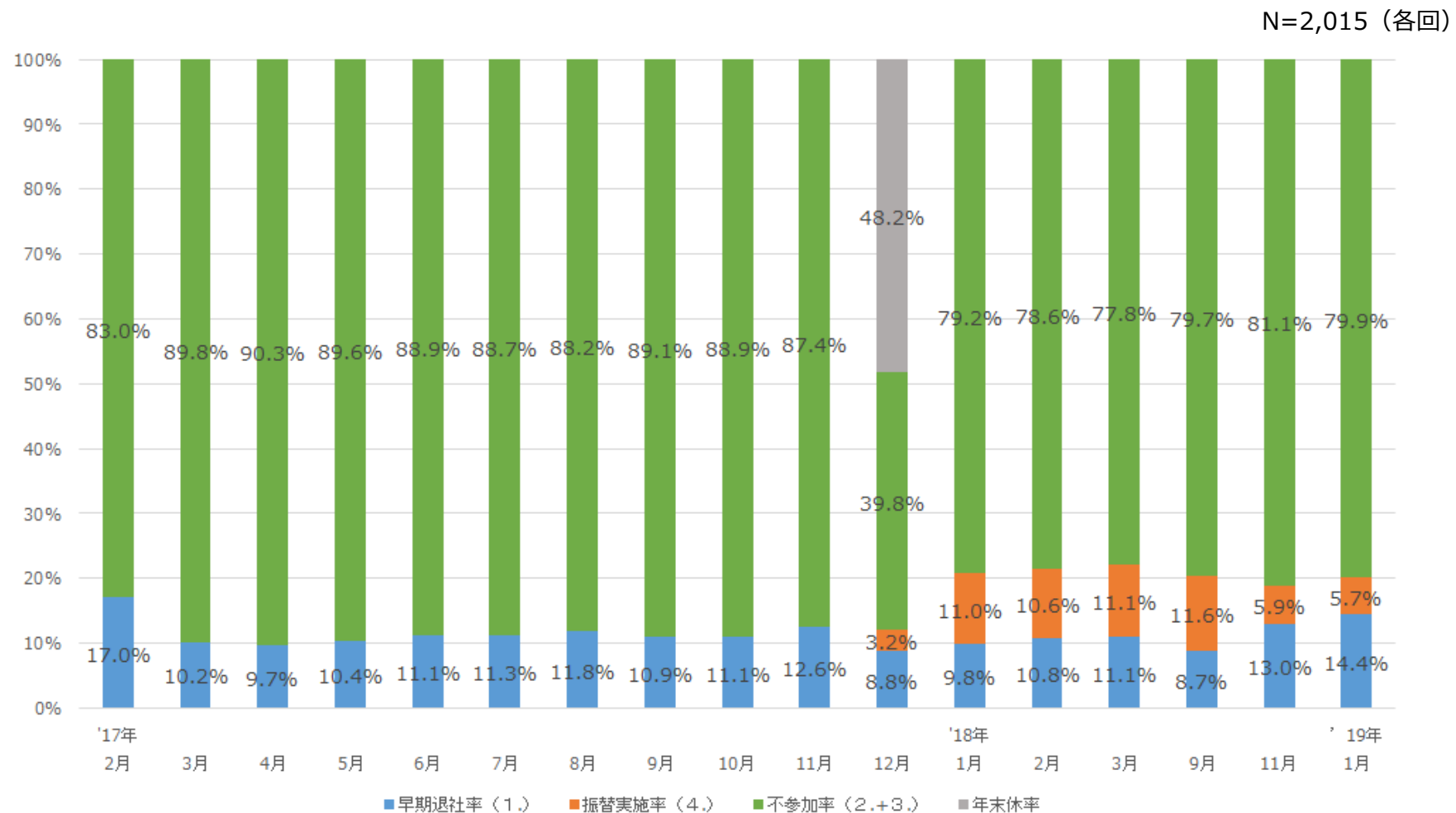
プレミアムフライデーの日に通常よりも早く退社したという者（＝早期退社率）の推移

※振替実施率は2017年12月から調査開始

Q：「プレミアムフライデー」の日、通常よりも早く退社することができましたか。

- 1.通常よりも早く退社した／休暇を取得したため出社していない
- 2.通常と変わらない時間に退社した
- 3.通常よりも遅く退社した
- 4.『プレミアムフライデー』ではなく、別の日に振り替えて通常よりも早く退社した（する予定である）

プレミアムフライデーの当日、通常よりも早く退社したという者（早期退社率）は、調査を実施した全17回の平均で11.3%。
直近6回の調査でプレミアムフライデー当日以外の日に振り替えて実施したという者を含めると平均で20.6%。

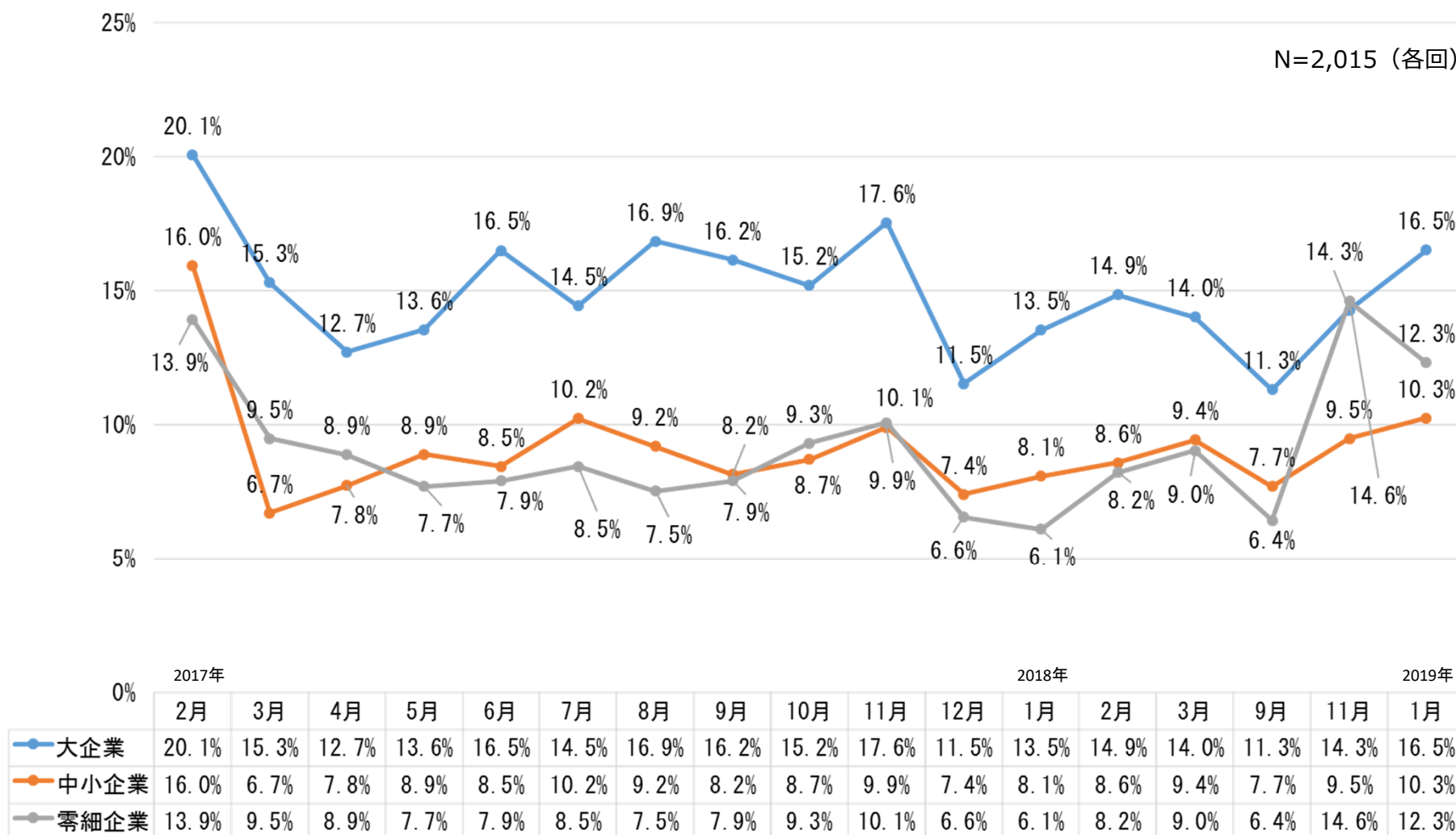


【企業規模別】 早期退社率の推移

※振替を含まない

早期退社率を企業規模別に分析すると、以下のとおり。

全17回の平均で大企業が15.0%、中小企業が9.1%、零細企業が9.1%。大企業の方が早期退社しやすい傾向が継続している。



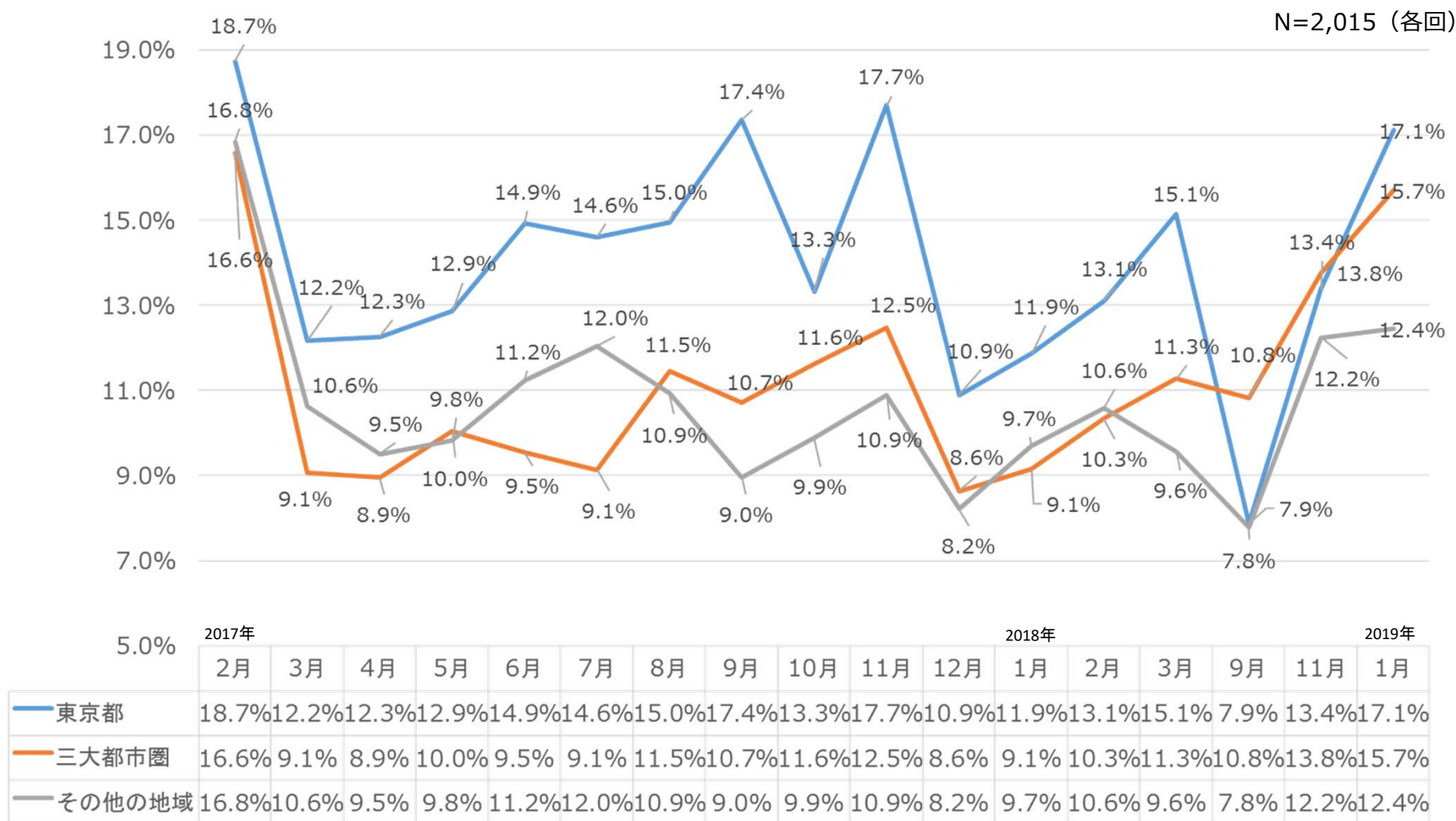
※昨年の公表値は振替を含めた数値で整理したが、今回は振替を除いた数値を出している。

【地域別】 早期退社率の推移

※振替を含まない

早期退社率を地域別に分析すると、以下のとおり。

全17回の平均で東京都が14.0%、三大都市圏が11.1%、その他の地域が10.7%。東京都とそれ以外の地域との差が継続している。



注) 三大都市圏：埼玉・千葉・神奈川・愛知・京都・大阪・兵庫の7府県 その他の地域：東京都と三大都市圏を除く39道県

※昨年の公表値は振替を含めた数値で整理したが、今回は振替を除いた数値を出している。

プレミアムフライデーの早期退社推奨率

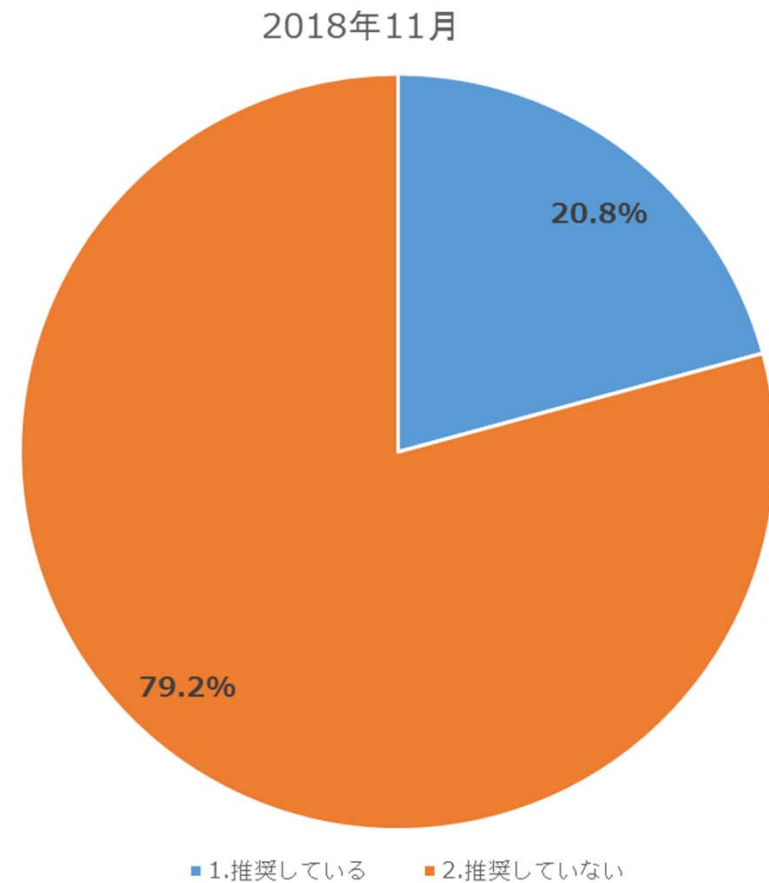
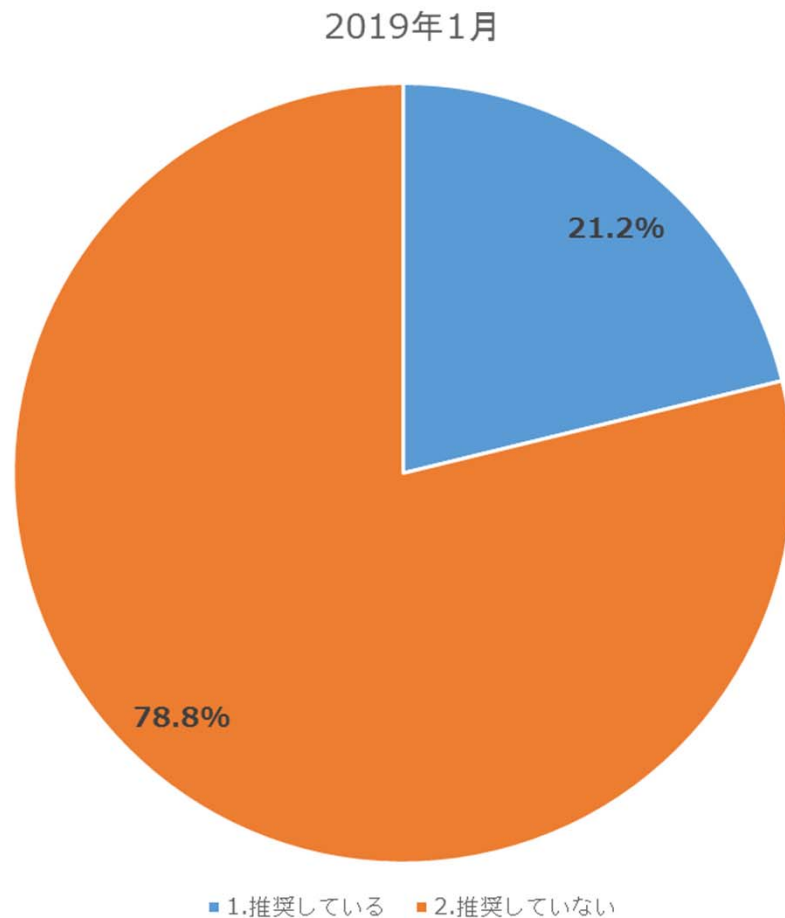
※2018年11月、2019年1月調査

Q： あなたの会社では、『プレミアムフライデー』の日の早帰りを推奨していますか。

1.推奨している 2.推奨していない

回答者の所属する組織がプレミアムフライデーの日の早期退社を推奨しているかどうかについて聞いたところ、結果は以下のとおり。

2割強の企業・団体がプレミアムフライデーの日の早期退社を推奨している。



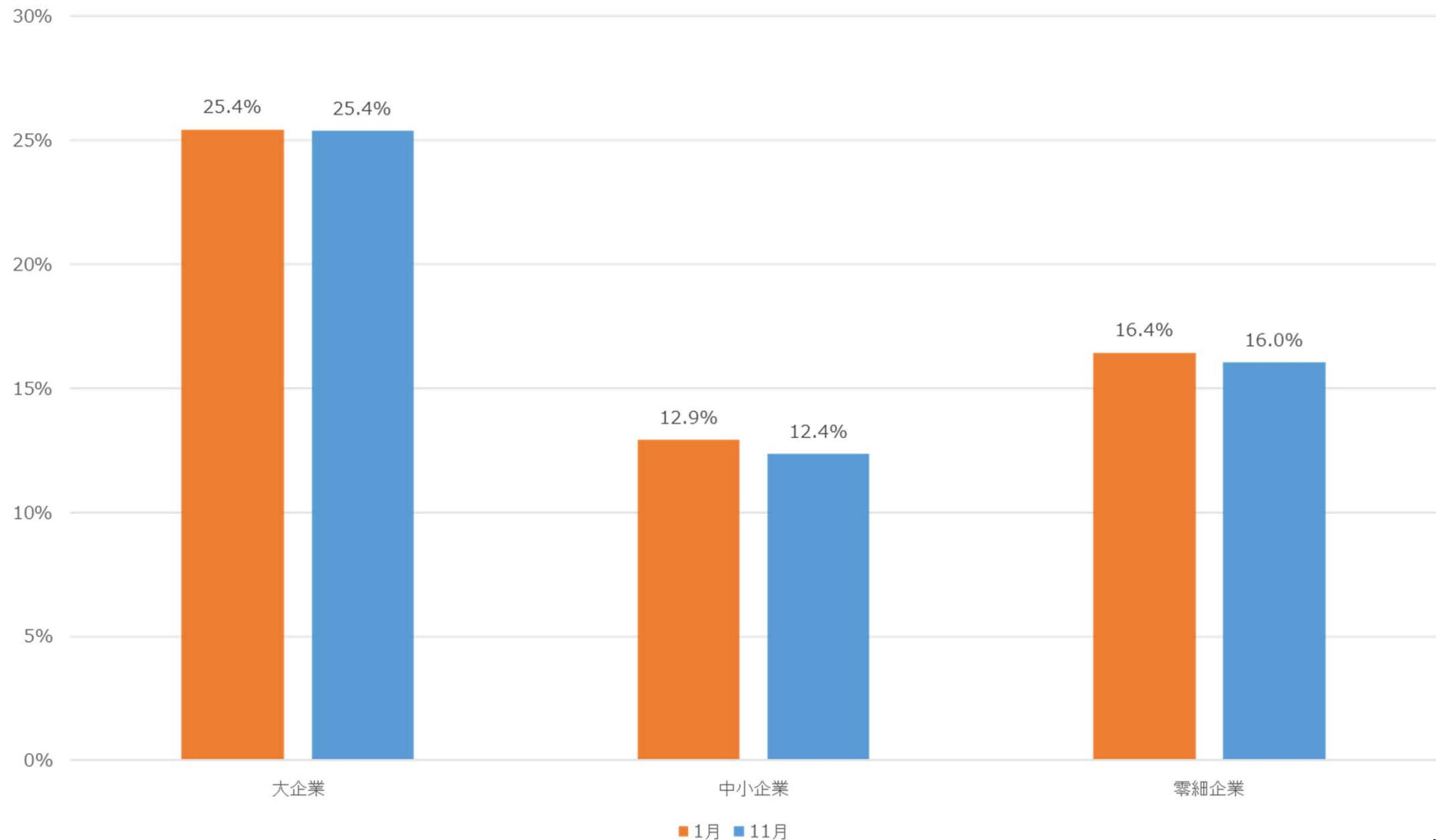
【企業規模別】 早期退社推奨率の推移

※2018年11月、2019年1月調査

「早期退社推奨率」を企業規模別に分析すると、以下のとおり。

大企業が25%程度、中小企業が12%程度、零細企業が16%程度であり、依然として大企業と中小・零細企業間で隔たりがある。

N=2,015（各回）



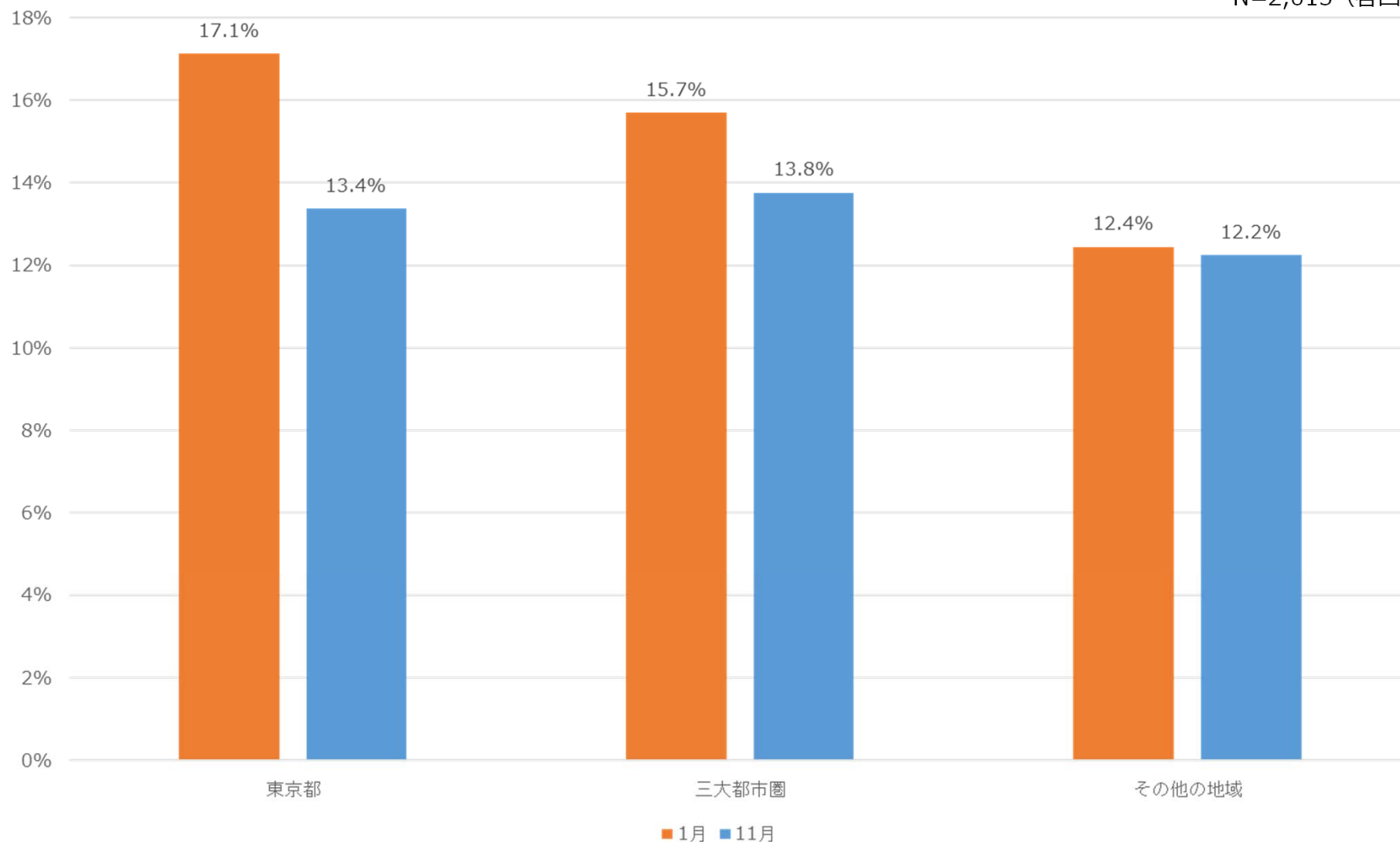
【地域別】 早期退社推奨率の推移

※2018年11月、2019年1月調査

「早期退社推奨率」を地域別に分析すると、以下のとおり。

依然として東京都が高い傾向にあるものの、地域差が縮小している傾向がうかがえる。

N=2,015（各回）



注) 三大都市圏：埼玉・千葉・神奈川・愛知・京都・大阪・兵庫の7府県 その他の地域：東京都と三大都市圏を除く39道県

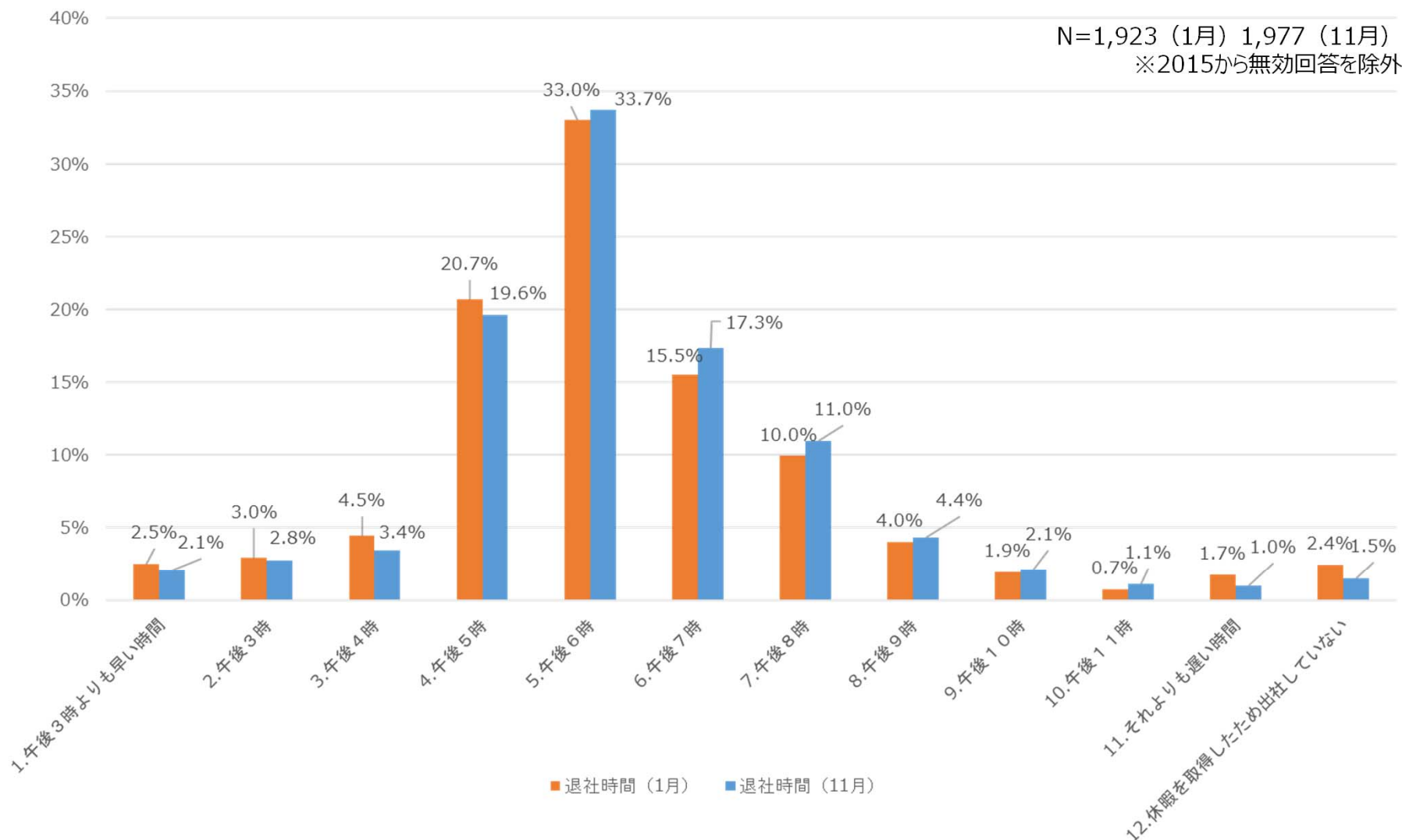
プレミアムフライデーの帰宅時間

※2018年11月、2019年1月調査

Q： あなたは、「プレミアムフライデー」の日、何時頃、退社しましたか。※選択肢はグラフ中を参照

プレミアムフライデー当日の退社時間は以下のとおり。

1月の調査では、いわゆる定時以前に退社していると考えられる午後4時までの帰宅者は1割程度にとどまっているが、午後5時までに3割強、午後6時までに6割強が退社しており、定時退社を実行している方々は意外と多いことが推察される。



プレミアムフライデーの過ごし方

※2018年11月、2019年1月調査

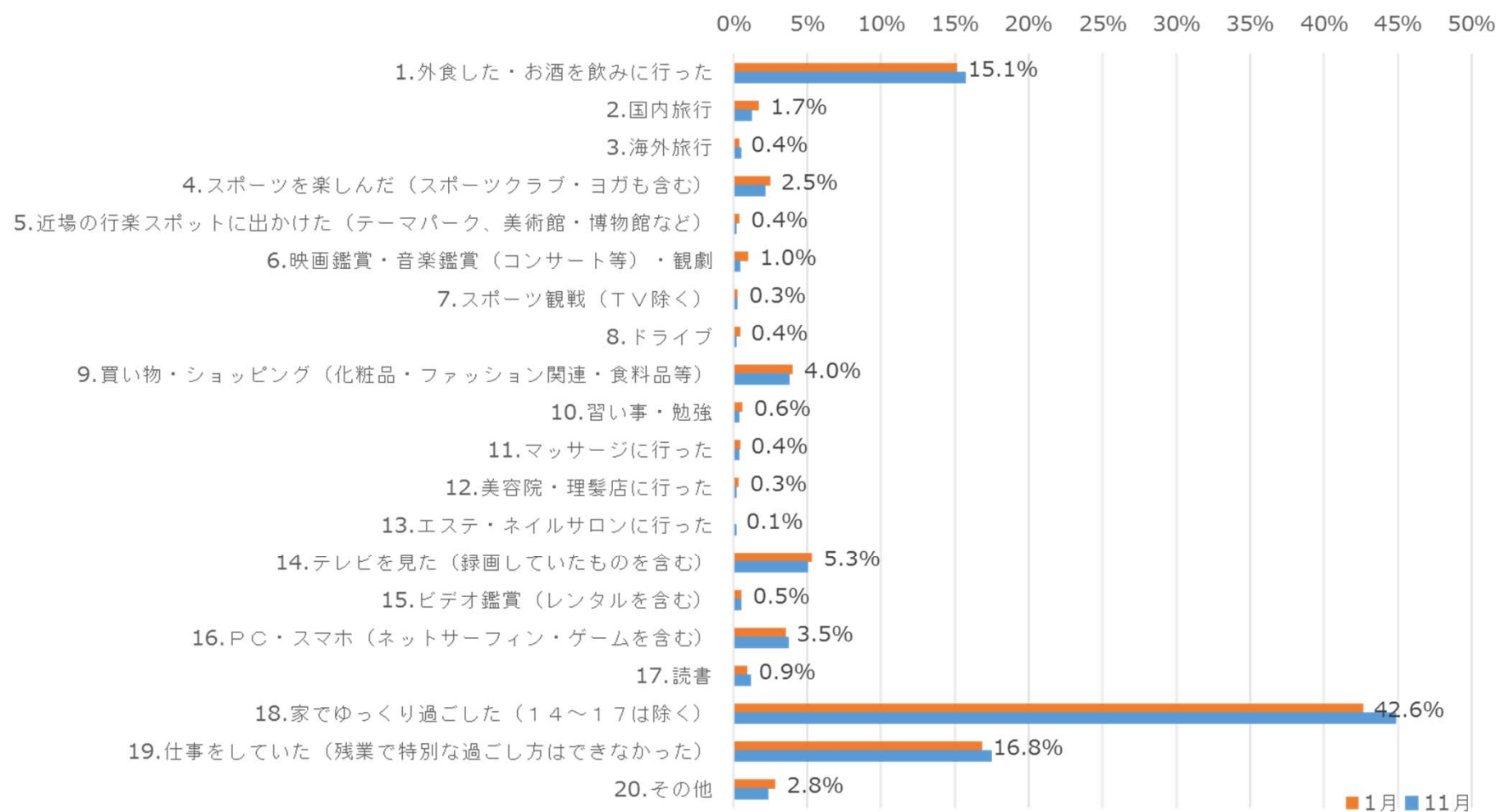
Q： あなたは、「プレミアムフライデー」の退社後、主にどのような過ごし方をしましたか。

※選択肢はグラフ中を参照

プレミアムフライデー当日の主な過ごし方を聞いたところ、以下のとおり。

1月の調査では、「家でゆっくり過ごした」が40%超でトップとなり、以降、「仕事をしている（残業で特別な過ごし方はできなかった）」16.8%、「外食した・お酒を飲みに行った」15.1%、「テレビを見た」5.3%、「買い物・ショッピング」4.0%、「PC・スマホ」3.5% と続く。

N=2,015（各回）

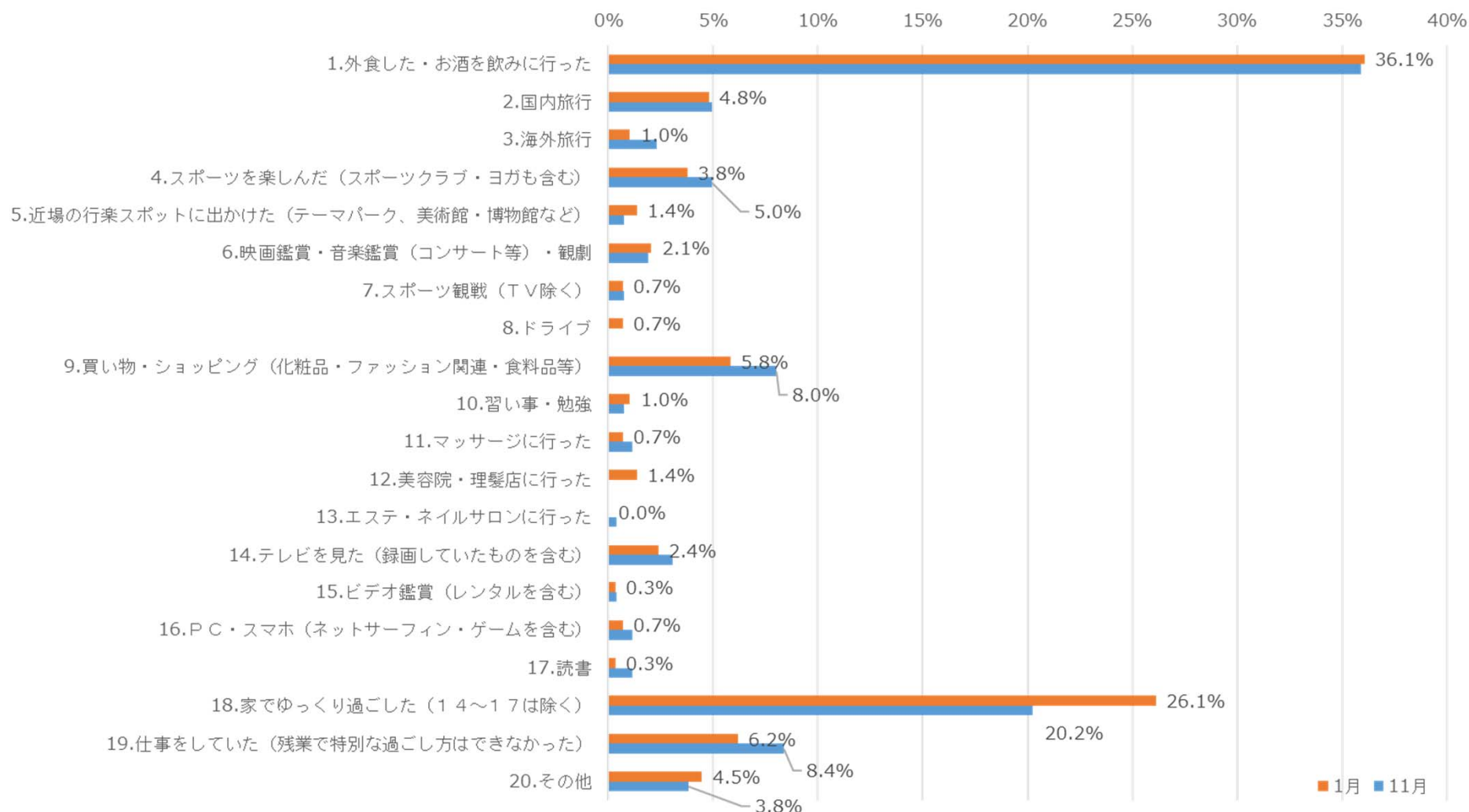


いつもより早く退社した者のプレミアムフライデーの過ごし方

いつもより早く退社した者に絞ってプレミアムフライデー当日の主な過ごし方をみると、以下のとおり。

1月の調査では、「外食した・お酒を飲みに行った」が36.1%でトップとなり、以降、「家でゆっくり過ごした」26.1%、「仕事をしていた（残業で特別な過ごし方はできなかった）」6.2%、「買い物・ショッピング」5.8% と続く。また、旅行関係についても「国内・海外・近場」を合わせると約10%と一定の割合を占める。

1月：N=291 11月：N=262



所属企業に対するプレミアムフライデーの**早期退社の推奨希望** ※2018年11月、2019年1月調査

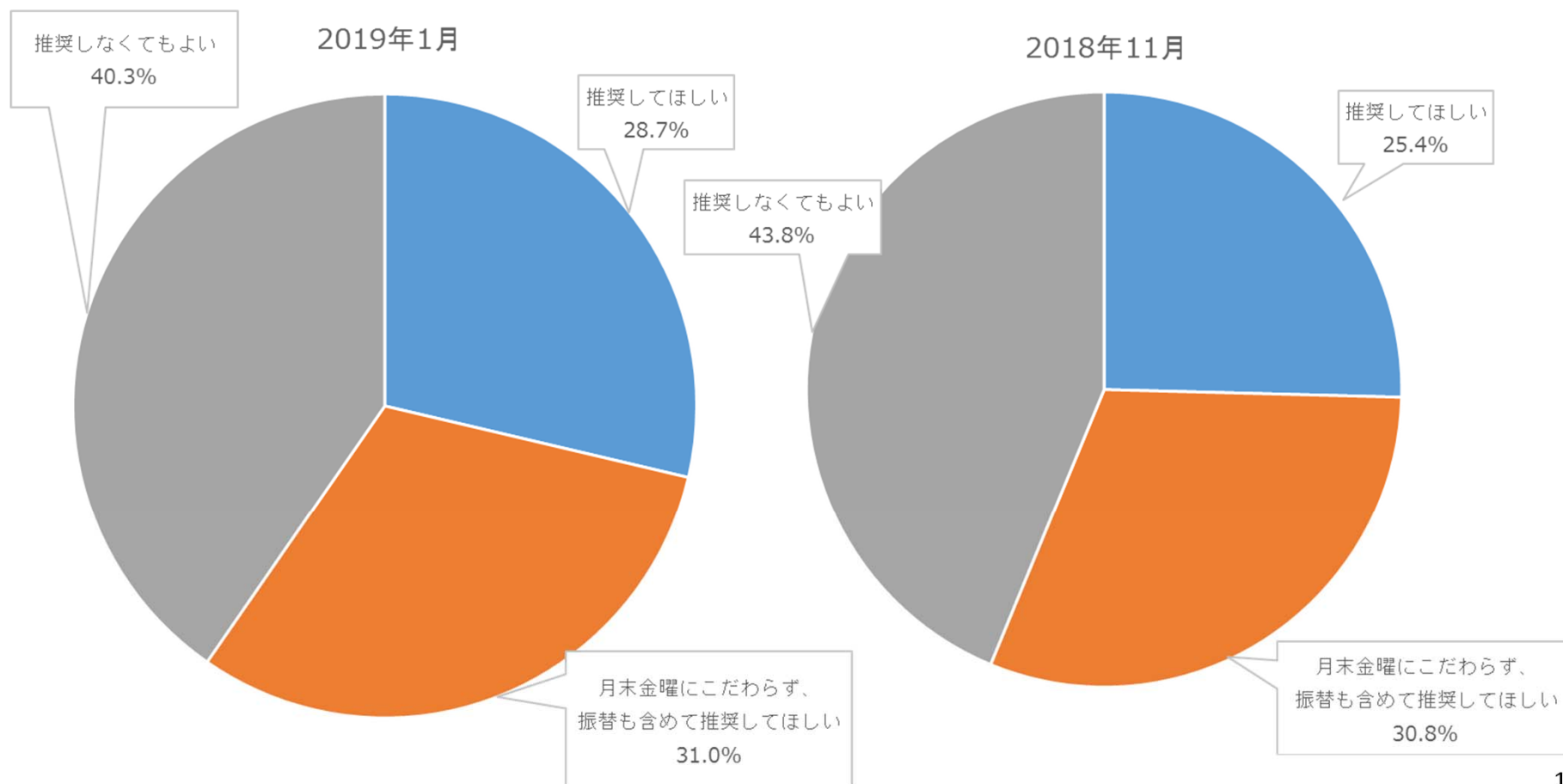
Q. あなたは、「プレミアムフライデー」で会社が早く帰宅することを推奨してほしいと思いますか。

1. 推奨してほしい 2. 月末金曜にこだわらず、振替も含めて推奨してほしい 3. 推奨しなくてもよい

所属企業に対し、「プレミアムフライデー」に会社が早く帰宅することを推奨してほしいと思うかどうかについて聞いたところ、以下のとおり。

1月の調査では、「**推奨してほしい**」が28.7%、「**月末金曜にこだわらず、振替も含めて推奨してほしい**」が31.0%であり、**両者を合わせると、「推奨しなくてもよい」を上回り、6割弱が所属企業による早期退社の推奨を望んでいる**ことがわかる。

N=2,015（各回）

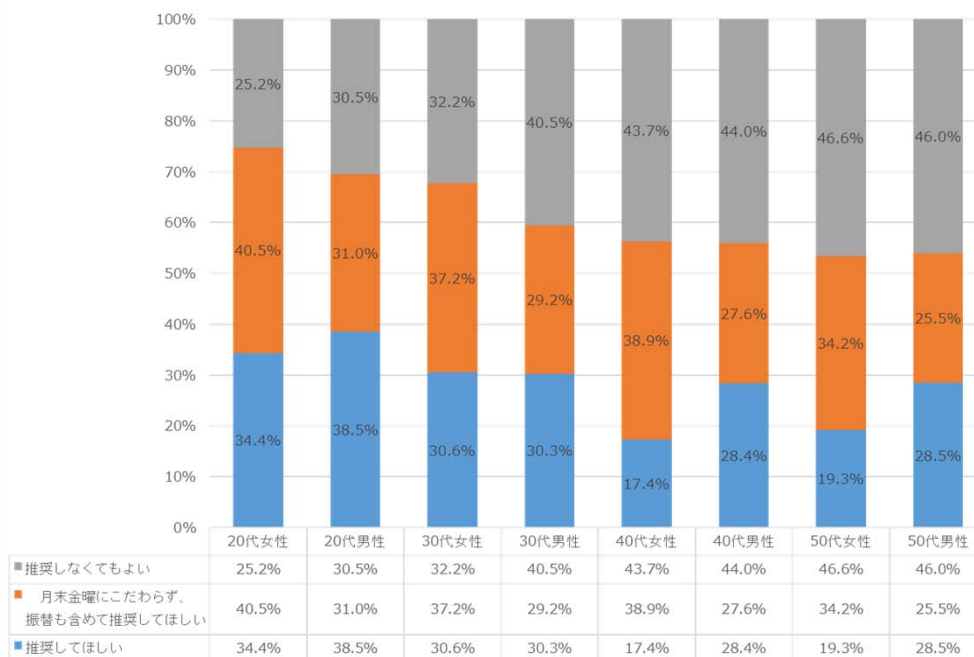


【年代別・男女別】 所属企業に対するプレミアムフライデーの早期退社の推奨希望

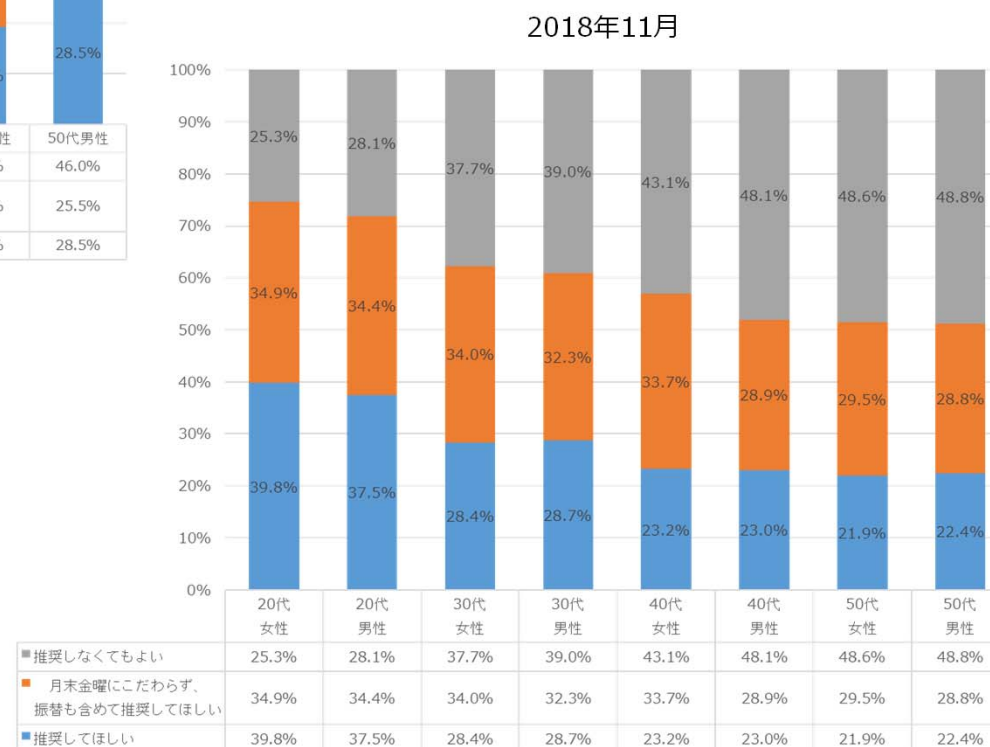
※2018年11月、2019年1月調査

所属企業による早期退社の推奨を望んでいるかどうか、年代別・男女別に分析してみると、以下のとおり。

若い世代ほど所属企業によるプレミアムフライデーの早期退社の推奨を希望する割合が高く、特に20代女性においては両月とも7割を超えている。



N=2,015 (各回)



プレミアムフライデーにちょっと豊かな時間を過ごせたか

※2018年11月、2019年1月調査

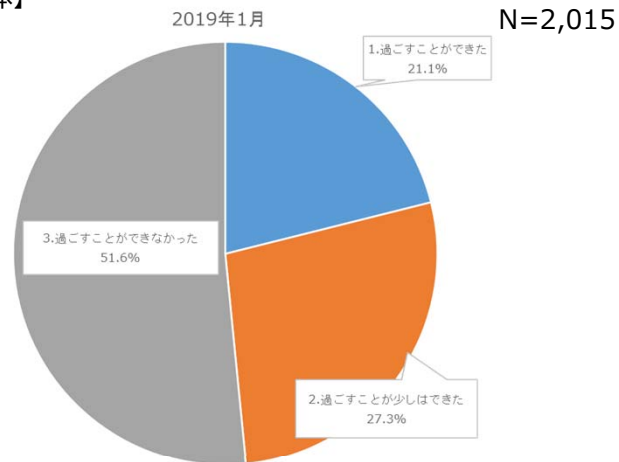
Q. あなたはプレミアムフライデー当日、いつもより早く帰った（退社した）かどうかに関わらず、ちょっと豊かな過ごし方ができましたか。

1. 過ごすことができた 2. 過ごすことが少しはできた 3. 過ごすことができなかった

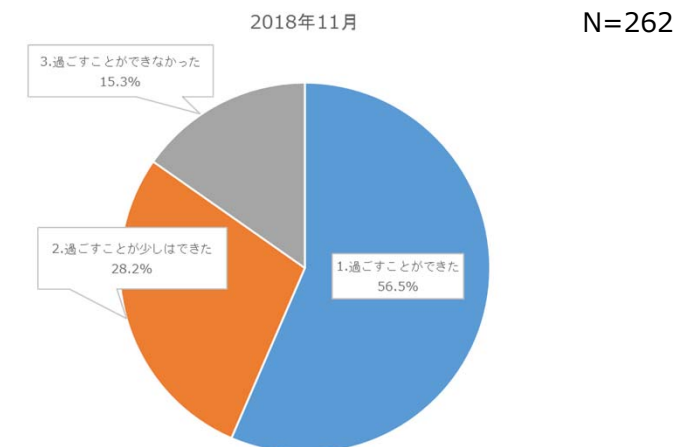
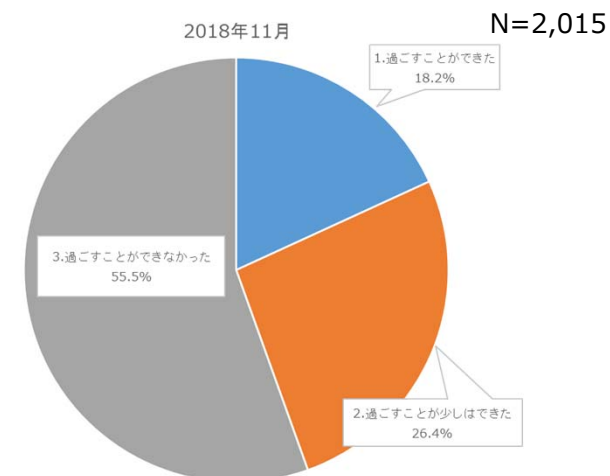
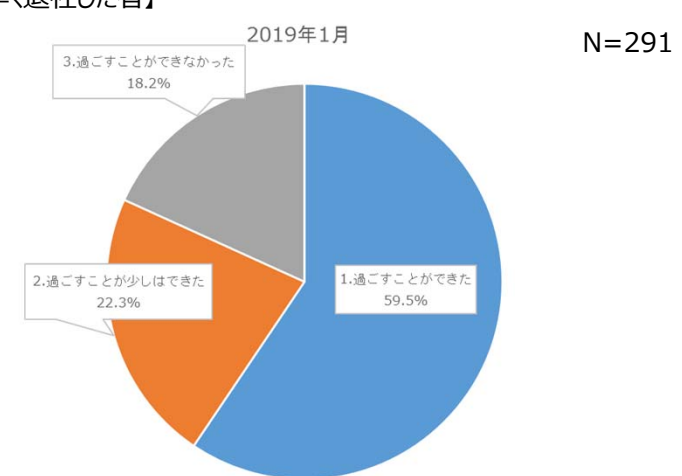
プレミアムフライデー当日にちょっと豊かな時間を過ごせたかどうかを聞いたところ、以下のとおり。

1月の調査では、「過ごすことができた」が21.1%、「過ごすことが少しはできた」が27.3%であり、両者を合わせると、5割弱が「プレミアムフライデー当日にちょっと豊かな時間を過ごせた」と回答している。なお、いつもよりも早く退社した者に絞ると、1月の調査では、8割を超える者が「ちょっと豊かな時間を過ごせた」と回答しており、満足度は高い。

【全体】



【いつもより早く退社した者】



【参考：調査サンプルについて】

各回のサンプル数は全て「2,015」だが、回答者の所属する企業規模、年齢・性別の構成については、以下のとおりであり、各回で一致しない。

○企業規模別の構成

	大企業	中小企業	零細企業
当初15回平均	713	947	355
2018年11月	1,245	558	212
2019年1月	1,270	526	219

※当初15回の調査では、回答者に「大企業・中小企業・零細企業の別」を自己申告していただいたもので分類。

2018年11月及び2019年1月の調査では、回答者に「所属する組織の業種」と「従業員数」を自己申告していただいたもので分類。
(資本金については考慮していない)

○年齢・性別の構成

	20代		30代		40代		50代	
	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性
当初15回	198	229	224	331	229	304	211	289
2018年11月	83	64	215	310	181	491	105	566
2019年1月	131	200	180	363	167	402	161	411

※2018年11月及び2019年1月の調査では、年齢・性別について、実際の労働人口の分布に近づけるよう、男性のサンプル数を増やしている。